

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科   | 言語聴覚士学科昼間部  |  | 科 目 区 分  | 専門基礎分野     | 授業の方法  | 講義演習          |
|---|-------------|--|--|------------|--|---------------|
| 科 目 名   | 内科学         |  | 必修/選択の別  | 必修         | 授業時数(単位数)  | 15 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年   | 1年          |  | 学期及び曜時間  | 後期 金4限     | 教室名  | 第4校舎401       |
| 担 当 教 員   | 北野富美雄       | 実務経験と<br>その関連資格  | 八尾徳洲会総合病院に薬剤師として勤務。業務は調剤(入院・外来)、服薬指導(入院・外来) 薬品管理 薬品情報提供 新薬治験・研究 製剤(院内薬品) 医薬品の再評価・審査、入院患者(内科)の臨床薬剤師に従事。 |            |  |               |
| <p>《授業科目における学習内容》</p> <p>患者の高齢化が進んでいる今日、内科疾患を有する率が増加している。内科は医学の基本である。内科を履修することで、内科疾患の ①成因 ②診断 ③症状 ④治療 薬物療法を理解することができる。将来、言語聴覚士の日常業務において、チーム医療の一員として参画できる。受け持ち患者の全身状態を把握できる。内科学は言語聴覚士国家試験の科目であり、国家資格取得に寄与できる。</p> <p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>本試験(記述形式)講義終了後、別日に行う。本試験の点数を100%成績評価とし、60点以上を合格とする。</p> <p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>内科学 8版 編集 北村 論 コメディカルのための専門基礎分野テキスト 中外医学社 2024年<br/>言語聴覚士国家試験問題</p> <p>《授業外における学習方法》</p> <p>講義の前後につながりがあるので、前回の練習問題を確認してほしい。次回にすることを予習してほしい。</p> <p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>わからないところがあれば、遠慮なく質問してほしい</p> |             |  |  |            |  |               |
| 授業の方法   | 内 容         |  |  | 使用教材       | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容                                    |               |
| 第1回   | 講義形式        | 授業を通じての到達目標  | <p>消化器系Ⅰ 逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍、胃癌など<br/>解剖、生理、検査、症状、治療を理解できる</p>  | 教科書 配布プリント | 逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍、胃癌の予習                                     |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | <p>食道、胃の構造と機能 消化性出血 食道系疾患(逆流性食道炎 食道裂孔ヘルニア 食道癌)胃十二指腸疾患(急性胃炎 慢性胃炎 胃十二指腸潰瘍 胃癌)の治療について学ぶ</p>   |  |            |  |               |
| 第2回   | 講義形式        | 授業を通じての到達目標  | <p>消化器系Ⅱ 腸の構造機能 急性腸炎 虫垂炎 腸閉塞<br/>クローン病 潰瘍性大腸炎 大腸癌の治療を理解できる</p>   | 教科書 配布プリント | 逆流性食道炎、胃十二指腸潰瘍、胃癌の復習と急性腸炎 虫垂炎 腸閉塞 クローン病 潰瘍性大腸炎 大腸癌の予習    |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | <p>小腸、大腸の構造機能 急性腸炎 虫垂炎 腸閉塞 クローン病 潰瘍性大腸炎 過敏性腸症候群 大腸ポリープ 大腸癌の検査 治療について学ぶ</p>                 |  |            |  |               |
| 第3回   | 講義形式        | 授業を通じての到達目標  | <p>肝胆膵系 急性肝炎、肝硬変、胆嚢炎、急性膵炎 肝癌<br/>解剖、生理、検査、症状、治療が理解できる</p>  | 教科書 配布プリント | 急性腸炎 虫垂炎 腸閉塞 クローン病 潰瘍性大腸炎 大腸癌の復習と急性肝炎、肝硬変、胆嚢炎、急性膵炎 肝癌の予習 |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | <p>肝臓、膵臓 胆嚢の構造と機能 肝臓疾患(急性肝炎(ウイルス、薬剤、アルコール性) 慢性肝炎 肝硬変 肝癌) 胆嚢疾患 膵臓疾患(急性膵炎 慢性膵炎)の検査と治療を学ぶ</p> |  |            |  |               |
| 第4回   | 講義形式        | 授業を通じての到達目標  | <p>内分泌系疾患Ⅰ 末端肥大症、尿崩症、甲状腺疾患<br/>解剖、生理、検査、症状、治療が理解できる</p>  | 教科書 配布プリント | 急性肝炎、肝硬変、胆嚢炎、急性膵炎 肝癌の復習と末端肥大症、尿崩症、甲状腺疾患の予習               |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | <p>下垂体前葉 後葉 甲状腺の構造、機能 末端肥大症 下垂体機能低下症 尿崩症 甲状腺機能亢進症(バセドウ病) 甲状腺機能低下症(橋本病)の検査 治療について学ぶ</p>     |  |            |  |               |
| 第5回   | 講義形式        | 授業を通じての到達目標  | <p>内分泌系疾患Ⅱ 褐色細胞腫、クッシング症候群、副腎皮質<br/>解剖、生理、検査、症状、治療が理解できる</p>  | 教科書 配布プリント | 末端肥大症、尿崩症、甲状腺疾患の復習と褐色細胞腫、クッシング症候群の予習                     |               |
|   | 各コマにおける授業予定 | <p>副腎(皮質 髄質) 性腺の構造、機能 副腎皮質疾患(クッシング症候群 アジソン病 原発性アルドステロン症)副腎髄質疾患(褐色細胞腫)の検査 治療について学ぶ</p>      |  |            |  |               |

| 授業の方法 |             | 内 容   | 使用教材       | 授業以外での準備学習<br>の具体的な内容                        |
|-------|-------------|---|------------|--|
| 第6回   | 講義形式        | 代謝性疾患 脂質異常症 糖尿病Ⅰ型Ⅱ型 高尿酸血症(痛風) 解剖、生理、検査、症状、治療が理解できる                      | 教科書 配布プリント | 褐色細胞腫、クッシング症候群の復習と脂質異常症 糖尿病、痛風の予習            |
|       | 各コマにおける授業予定 | 膵臓 ランゲルハンス島 グルカゴン インスリン 糖の代謝 プリン体の代謝 高血糖症状 糖尿病 糖尿病合併症 高尿酸血症 検査 治療について学ぶ |            |  |
| 第7回   | 講義形式        | 呼吸器疾患 閉塞性換気障害(気管支喘息、COPD) 拘束性換気障害(間質性肺炎) 解剖、生理、検査、症状、治療が理解できる           | 教科書 配布プリント | 脂質異常症 糖尿病、痛風の復習と閉塞性換気障害 拘束性換気障害の予習           |
|       | 各コマにおける授業予定 | 気管支、肺の機能と構造。閉塞性換気障害(気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患)、拘束性換気障害(間質性肺炎 肺線維症) の検査、治療について学ぶ    |            |  |
| 第8回   | 講義形式        | 循環器疾患 慢性心不全(うっ血性) 高血圧(二次性、本態性) 循環器の解剖、生理、検査、症状、治療が理解できる                 | 教科書 配布プリント | 気管支喘息 慢性閉塞性肺疾患(COPD) の復習と心不全(急性うっ血性) 高血圧 の予習 |
|       | 各コマにおける授業予定 | 循環器の解剖 心臓の機能、刺激伝導系 血圧の調節 ①慢性(うっ血性)心不全 左心不全 右心不全 ②高血圧(二次性、本態性)について学ぶ     |            |  |
| 第9回   | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |
| 第10回  | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |
| 第11回  | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |
| 第12回  | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |
| 第13回  | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |
| 第14回  | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |
| 第15回  | 講義形式        |   |            |  |
|       | 各コマにおける授業予定 |   |            |  |